



クロツラヘラサギ（コウノトリ目トキ科） *Platalea minor*

大きさ：74cm ほど。

特 徴：ヘラサギより、やや小さい。全身が白色で、むねが黒い。目先の黒い線が目の部分まで広がっている。
水中にくちばしを入れて、首を左右にふりながら、魚を探す。

生態（時期）：11月～3月。飛来数は、少ない。

希少性：絶滅危惧ⅠA類（環境省）、絶滅危惧ⅠA類（沖縄県）

写真の個体は、冬場に、沖縄県総合運動公園横（泡瀬干潟向かい）にある比屋根湿地で観察された。最初は、6羽くらいが飛来し、その後、2羽が加わり、春先までには合計8羽も集まった。長旅に備えて、体力を温存している様子で、日中はほとんどの個体が顔を羽の中に入れて、昼寝をしていた。たまに、写真（右側）の個体のように、くちばしを左右に振りながら、水の中の魚を探す姿が観察された。沖縄県内では、那覇市の漫湖干潟で毎年観察されるが、ここ比屋根湿地も、渡りの重要な中継地点となっている。